



VOLA

福耳



H.22.2.25

寒気はまだまだ退きませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

2010年が始まり、あっという間に2か月が過ぎようとしています。暖かかったり、寒かったりと体調を崩しそうな天気が続いていますが、お身体に気を付けて天気の良い日には是非お出かけ下さい。スタッフ一同お待ちしております♪



補聴器と固定電話

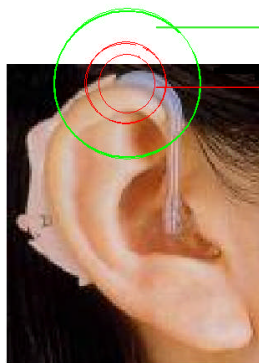


皆さんはご自宅の固定電話でご不便されたことはありませんか？というのも、ご来店頂くお客様からは

- ・ 相対では話ができるが、電話だと何を言っているのか分からない。
- ・ 補聴器がピーピー鳴ってしまって相手の声がうまく聞き取れない。

この2つで悩まれている方が多いように思います。

特にピーピー音に関しては、電話と補聴器、どちらも機械である為に相性が悪いこともあります。受話器の当て方でそれらを改善できる場合もありますので、下記方法をお試しでない方は是非お試しください。



→ 受話器を当てる位置

→ 耳掛け型補聴器のマイク（音を拾う場所）の位置

※耳掛け型補聴器のマイクの位置は図の通り耳に対して斜め後ろにあるので受話器の音口もマイクに近くなるよう当てましょう。

補聴器と受話器の間に拳1個ほどの空間を作るのも効果的です。

ただ、補聴器も万能ではない為、どんなに調整しても全てのご要望に添えない場合もあります。そんな時の改善策として提案するのが『[テレアンブ](#)』や『[ミミコンフォート](#)』などの日常生活用具との併用です。

テレアンブⅢ

相手の声が小さくて何を言っているのか分からないといった方にお勧めです。受話音を最大+45dBまで増幅でき、ほとんどの電話機に対応できます。家族全員で使用でき、軽度・中等度難聴の方に最適な音量増幅器です。

※黒電話は使用できません。

どちらも店内でお試し可能ですのでお気軽にどうぞ♪





ミミコンフォート

補聴器のハウリング防止に効果的です。
 受話器に貼りつけることで補聴器をしたままでも受話器が補聴器に直接触れず、快適な会話をサポートします。
 店内での試聴可能です。是非お試しください♪



ハウリングとその対策

補聴器を装着している時に補聴器からピーピーと不快な音が鳴ることがあります。補聴器本体の故障を除き、これを『**ハウリング**』と言います。補聴器が耳の穴にぴったり合っていれば起こらないのですが、少しでも隙間があると補聴器のレシーバーから出た音が耳と補聴器の隙間から漏れて、漏れた音をマイクが拾いピーピー音、つまりハウリングが起こります。この音はレシーバーとマイクの距離が近く、レシーバーから出る音が大きいほど鳴りやすくなります。

人の耳の穴は加齢による皮膚のたるみや体重の増減などで形が変わってしまうことがある為、耳掛け型なら耳せんのサイズの変更を、耳あな型であれば型の修正や調整が必要となります。

人の耳は指紋と同じように千差万別です。オーダーメイドで作る耳あな補聴器は問題ないのですが、既成の耳せんを用いる耳掛け型補聴器では耳の穴の型によっては限界もあります。そんな時は耳せん部分のみオーダーメイドで作る**イヤモールド※1**をお勧めします。

※1 イヤモールド

オーダーメイドの耳せん。ハウリングや脱落防止に効果的ですが、しっかりと耳を塞いでしまう為、慢性中耳炎や耳の中が湿っぽい方には、音は漏らさず通気を良くし、常に耳の中を清潔に保てる**透湿バント**のついたイヤモールドをお勧めします。またカラーバリエーションも豊富で目立たないクリアからピンクやブルー、ラメ入りなどもお選び頂けます。



H21.12.16 聴覚病理を受講

あまり掘り下げて学ぶ機会が少ない病理ですが、良い機会を得て高橋が受講してきました。ドクターとの連携の大切さ、**禁忌 8 項目**を厳守したうえで、可能な限り治療を優先して頂くことの大切さを改めて学びました。治療の可能性を見落とすことが決してないよう、今後の経験に役立てていきたいと思います。

耳鳴り・眩暈・気骨導差・耳の痛み・耳垢詰まり・騒音暴露・1か月以内の聴力低下